



2024年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2024年8月7日

ローランド株式会社



『KATANA ARTIST GEN3』

今回発表のポイント

- 円安効果もあり**上期計画を超過達成（前期比 増収・増益）**
- 市場では価格訴求が続く中、**当社は販売戦略正常化を推進**
- Dealerの在庫調整影響は**上期中に概ね終息**
- 一方、主に北米・中国で需要鈍化がみられ、**今期中は厳しい状況が続く想定**
- 販管費の見直し、計画比円安効果等を加味し、**通期業績予想に変更なし**
- **第2四半期末配当は予想通り実施、期末配当予想も変更なし**

1 2024年12月期 第2四半期決算概要

2 2024年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

1 2024年12月期 第2四半期決算概要

2 2024年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

決算のポイント

売上高

467 億円

(前期比 : **+1.3%**)

(計画比 : **+3.5%**)

- Dealer在庫調整の影響は概ね終息
- 北米・中国では需要の減少が継続

営業利益

44 億円

(前期比 : **+4.0%**)

(計画比 : **+34.1%**)

- 数量、単価影響は想定比マイナスも、販管費を適切にコントロール
- 為替の影響もあり、計画を大幅に超過

中間純利益¹

36 億円

(前期比 : **+15.6%**)

(計画比 : **+47.7%**)

- ローランド ディー. ジー. (株) のMBOに伴う株式売却 (約+4億)
- 米国楽器チェーン店のChapter11申請に伴う引当金 (約-1.5億円)

¹ 中間純利益は、「親会社株主に帰属する中間純利益」を指す

連結業績

- 売上総利益率は、販売戦略正常化により、四半期ごとに着実に改善（前期Q4:40.9% → 今期Q1:42.5% → 今期Q2:43.8%）
- 4-6月期（3か月間）実績は補足資料（P.20）を参照

(単位: 百万円)	2023年12月期 上期 ¹		2024年12月期 上期 ²		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	46,096	100.0%	46,705	100.0%	+1.3%
売上総利益	19,772	42.9%	20,183	43.2%	+2.1%
販管費	15,516	33.7%	15,754	33.7%	+1.5%
営業利益	4,256	9.2%	4,428	9.5%	+4.0%
中間純利益 ³	3,195	6.9%	3,694	7.9%	+15.6%
EBITDA	5,580	12.1%	5,860	12.5%	+5.0%

1 2023年12月期上期の為替レート 米ドル/円：134.87、ユーロ/円：145.84、ユーロ/米ドル：1.081

2 2024年12月期上期の為替レート 米ドル/円：152.26、ユーロ/円：164.65、ユーロ/米ドル：1.081

3 中間純利益は、「親会社株主に帰属する中間純利益」を指す

北米の状況と見通し

- 今期いっぱい調整期間が継続
- 来期より徐々に回復フェーズへの移行を見込む

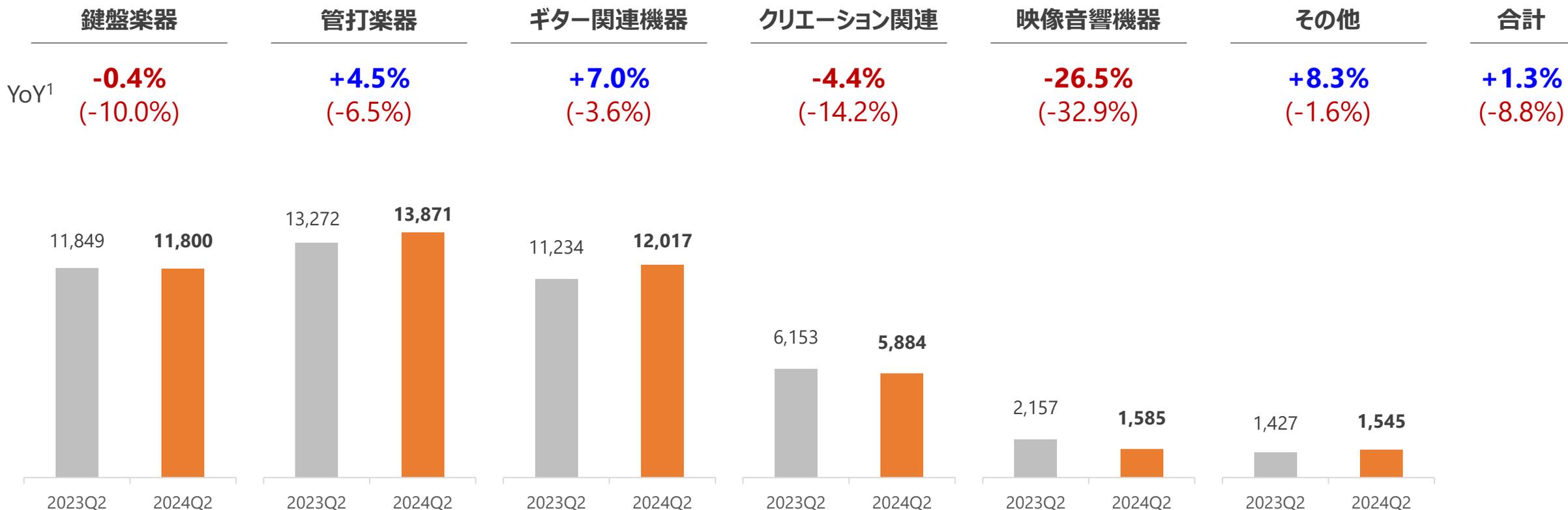
	上期の状況	通期見通し	来期見通し
北米楽器市場	<ul style="list-style-type: none"> ● 需要が減速 ● 需要減に伴いディーラーは保有在庫水準を見直し ● 老舗楽器チェーン店がChapter11を申請 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期比マイナス成長継続 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期比プラス成長へ転換
競合環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 各社の価格訴求が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格競争継続 	<ul style="list-style-type: none"> ● 競合環境は通常モードへ
Roland	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格訴求ではなく、販売戦略正常化を推進 ● 新製品での需要喚起を継続 ● コロナ禍で上昇したシェアは概ねキープ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地通貨ベースで10%程度の前期比マイナスを見込む ※Chapter11影響は-2～3ppt 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期比プラス成長へ転換

- コロナによる混乱の様々な調整が終息
- 新製品群の貢献（新製品比率25%を計画）

製品別売上高（Q2累計）

- 主要カテゴリでの実質前期比マイナス主要因は、ディーラー在庫調整影響
- 4-6月期（3か月間）実績は補足資料（P.21）を参照

単位：百万円

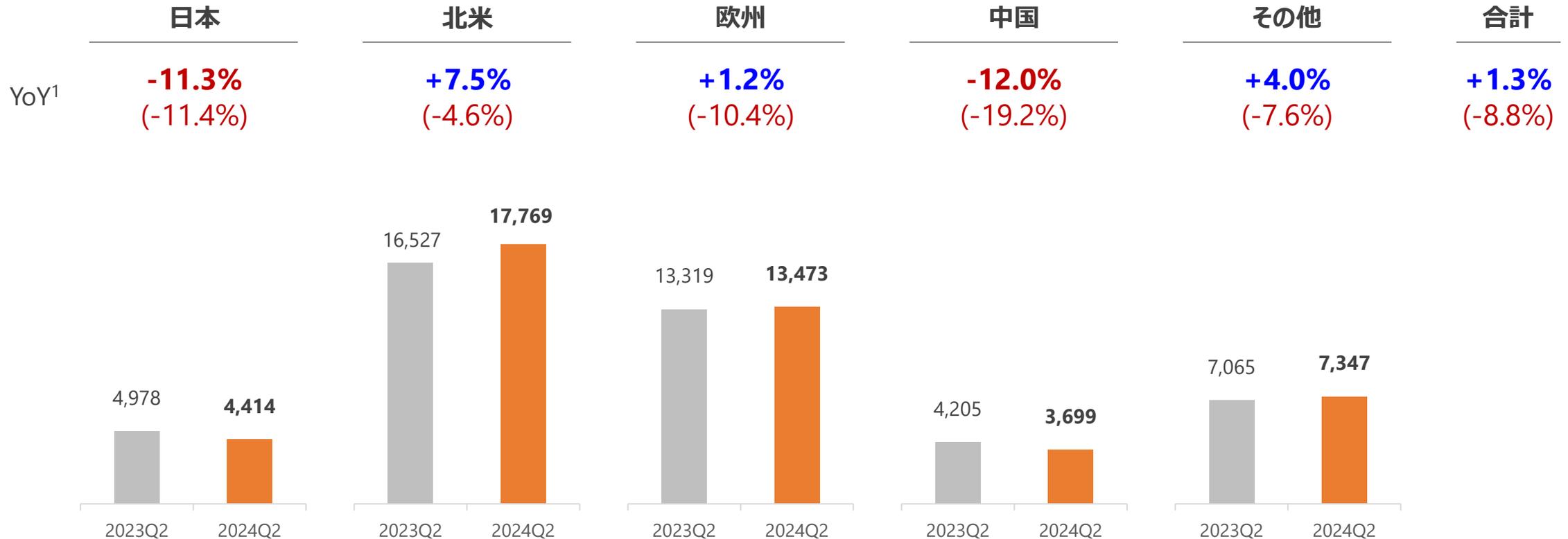


1 カッコ内は、為替影響を除外した比較

地域別売上高（Q2累計）

- 主要地域での実質前期比マイナス主要因は、ディーラー在庫調整影響
- 4-6月期（3か月間）実績は補足資料（P.22）を参照

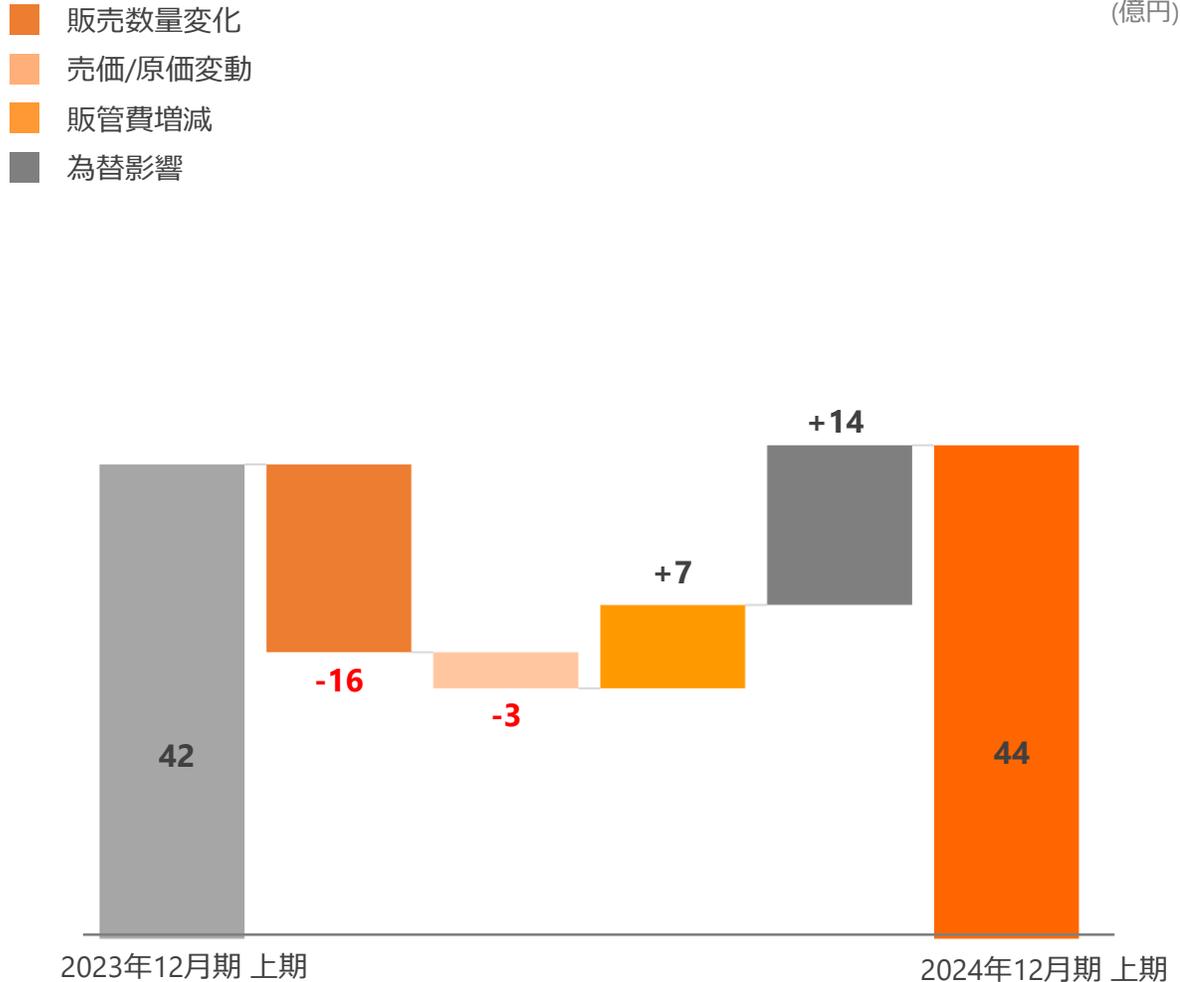
単位：百万円



1 カッコ内は、為替影響を除外した比較

連結営業利益（Q2累計）

増減（対前期比）

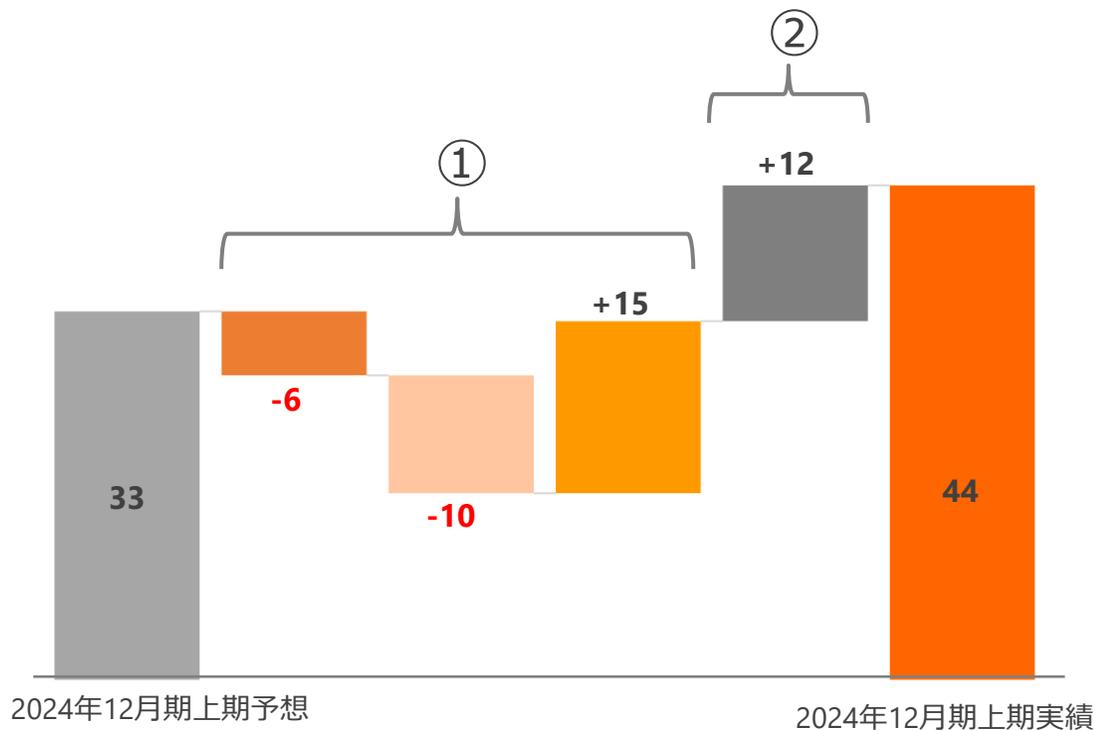


主な要因

- 販売数量変化**
 - ✓ 前期Q4の積極的なセルインからの反動減
 - ✓ 北米、中国での需要軟化
- 売価/原価変動**
 - ✓ 販売戦略正常化は着実に進捗し改善継続
 - ✓ DW収益改善
- 販管費増減**
 - ✓ 不透明な市況に対応し、積極的にコントロール
 - ✓ 販売数量減による関連費用の減少

連結営業利益（Q2累計）

増減（対計画比）



- ① 数量減少、販売単価のマイナス影響を、
販管費のコントロールでカバー
- ② 為替の計画比大幅な円安効果がアドオン

トピックス：第2四半期発表の主な新製品

ギター関連機器

ギター・アンプ

- 磨き抜かれた「**Tube Logic**」技術により、表現力が大きく向上した『KATANA AMP GEN 3 シリーズ』（7モデル）
- ユーザー同士がライブセットを共有可能な**オンライン・プラットフォーム「BOSS TONE EXCHANGE」**にもダイレクトでアクセス可能



『KATANA-50 GEN 3』



『KATANA-50 EX GEN 3』



『KATANA-100 GEN 3』



『KATANA-100/212 GEN 3』



『KATANA HEAD GEN 3』



『KATANA ARTIST HEAD GEN 3』



『KATANA ARTIST GEN 3』スマートフォンでの操作イメージ

ベース・エフェクター

- 「MEシリーズ」ならではの**直感的な操作性と音作り**を実現するベース用マルチ・エフェクター
- 専用アプリにより、PCでの音作りやメモリの管理が可能



『ME-90B』



『ME-90B』PCとの連携イメージ

ベース・アンプ

- 独自の「**CAB RESONANCE**」機能を備えたベース用ヘッド・アンプ
- **専用アプリにより、60を超えるエフェクトの使用、PCでの音作りが可能**



『KATANA-500 BASS HEAD』



『KATANA-500 BASS HEAD』スマートフォンとの連携 イメージ

トピックス：第2四半期発表の主な新製品

クリエイション関連機器 & サービス

シンセサイザー

- 最新の技術により**大幅に進化したフラッグシップ・シンセサイザー**『FANTOM EXシリーズ』（3モデル）
- **独自のモデリング技術**により再現するビンテージ・シンセ、グランドピアノなどの新規音源を搭載。より高品質な音楽制作も可能
- 既存モデルは「Roland Cloud」経由で**有償アップグレードが可能**



『FANTOM 8 EX』



『FANTOM 7 EX』



『FANTOM 6 EX』



『FANTOM EXシリーズ』を使用した音楽制作環境のイメージ

スマホ対応USBマイク

- スマホで手軽に高品質のライブ配信ができる**Twitchストリーマー／YouTuber向けUSBマイク**
- 専用の配信アプリでワイプ画面やテロップ表示も可能



『GO:PODCAST』



『GO:PODCAST』使用イメージ



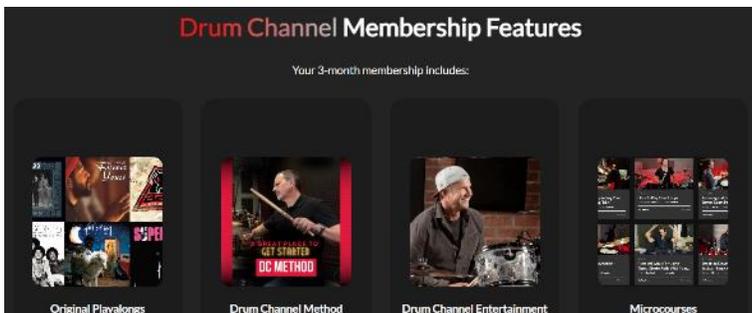
『GO:PODCAST』アプリ画面イメージ

トピックス：第2四半期発表の主な新製品

クリエイション関連機器 & サービス

Roland Cloud

- 有名ドラマーによるドラムレッスンビデオを多数提供する『Drum Channel for Roland』を開始し、**レッスンコンテンツは更に充実**



『Drum Channel for Roland』画面イメージ

	2024Q1		2024Q2
Roland Account	2.8M	➔	2.9M
R. Cloud User ¹	1.4M	➔	1.5M
Paid User ²	123K	➔	131K
Subscriber	29.5K	➔	30.6K

1 「Roland Cloud」のサービス利用者の累計数

2 各年度末でのサブスクリプション登録者数 + 年度内の単品購入者数

映像音響機器

ビデオ・スイッチャー

- リアル・イベントとライブ配信で高品位な映像演出・音声調整を行える**小型のビデオ・スイッチャー**
- **テロップや画像を合成できるPC用ソフト『Graphics Presenter』も公開。**
Roland Cloudよりテンプレートなどをダウンロード可能



『V-80HD』



『Graphics Presenter』使用イメージ



『V-80HD』と『Graphics Presenter』使用イメージ

1 2024年12月期 第2四半期業績概要

2 2024年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

地域、カテゴリ別の通期売上見通し

- 連結全体としては、計画比円安の影響もあり**業績予想に変更なし（999億円）**
- 一方、現地通貨ベースでは、全体的に期初計画を下回る見込み

	期初計画 YoY (woFX)	最新見通し
北米	+1.4%	↓
欧州	-2.2%	→
日本	-2.0%	↓
中国	-1.4%	↓
その他	+6.4%	→

	期初計画 YoY (woFX)	最新見通し
鍵盤楽器	-3.7%	→
管打楽器	+1.3%	↓
クリエイション	+7.4%	↓
ギター関連	+3.7%	↓
映像音響	-7.1%	↓

通期営業利益見通し

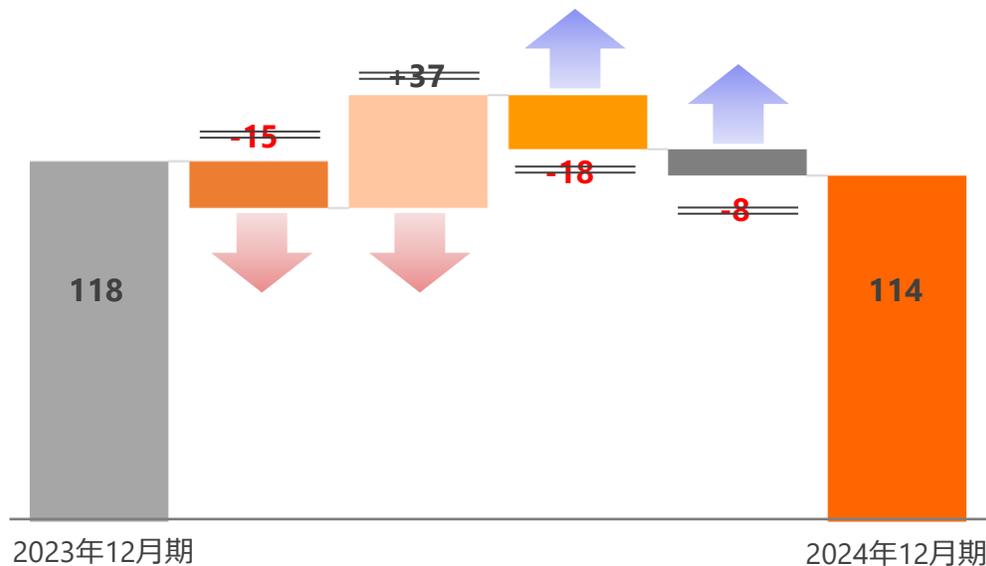
- 期初計画からのプラス要因とマイナス要因は概ねバランスすると見込み、**業績予想に変更なし（114億円）**
 ※下期為替レートを期初計画から見直し試算（JPY/USD：137⇒148、JPY/EUR：147⇒160、EUR/USD：1.073⇒1.081）

期初計画（2024/02/14開示）

想定される変化

- 販売数量変化
- 売価/原価変動
- 販管費増減
- 為替影響

以下の計画からは、要因ごとの増減額に大幅な変化を見込む



- **販売数量は想定比減少**
 - ✓ 需要の減少は今期中継続
- **売価、原価変動のプラスは想定以下**
 - ✓ 販売戦略正常化は、より慎重に実行
 - ✓ 物流費は想定比増加
- **販管費を見直し、計画比で大幅に減少**
 - ✓ 中計投資以外の部分は可能な限り最小化
 - ✓ 販売数量減少による関連費用の減少
- **為替影響がプラス**
 - ✓ 計画比では円安が継続

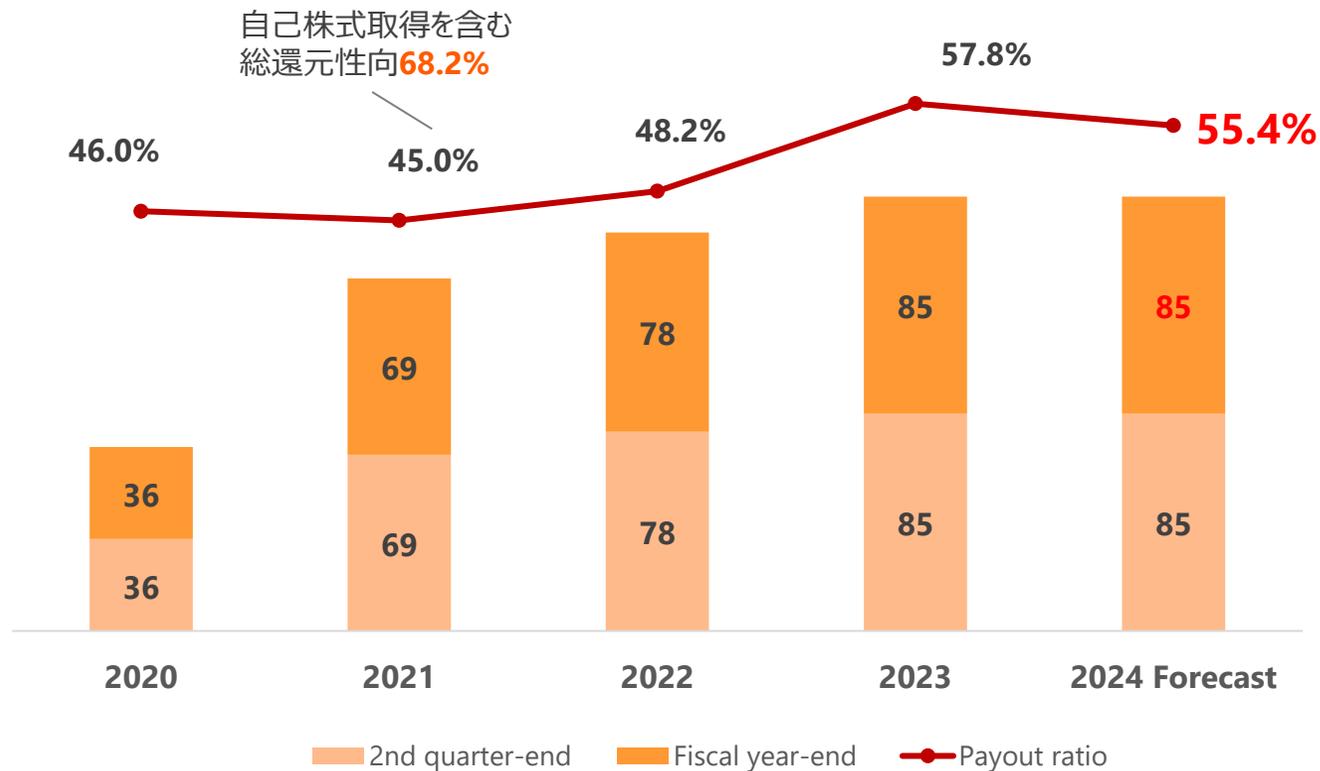
株主還元

- 第2四半期末配当は、利益予想の達成を受け**期初予想通りに実施**
- **期末配当予想も変更なし**

一株当たり配当（予想）

- 第2四半期末： **85円**（決定済）
- 期末： **85円**
- 合計： **170円**

配当金および配当性向推移



1 2023年12月期 第2四半期業績概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

連結業績（4-6月期／3か月間）

(単位: 百万円)	2023年12月期 Q2 3M ¹		2024年12月期 Q2 3M ²		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	23,235	100.0%	24,621	100.0%	+6.0%
売上総利益	10,023	43.1%	10,790	43.8%	+7.6%
販管費	7,786	33.5%	7,926	32.2%	+1.8%
営業利益	2,237	9.6%	2,863	11.6%	+28.0%
四半期純利益 ³	1,787	7.7%	2,713	11.0%	+51.9%
EBITDA	2,916	12.6%	3,591	14.6%	+23.1%

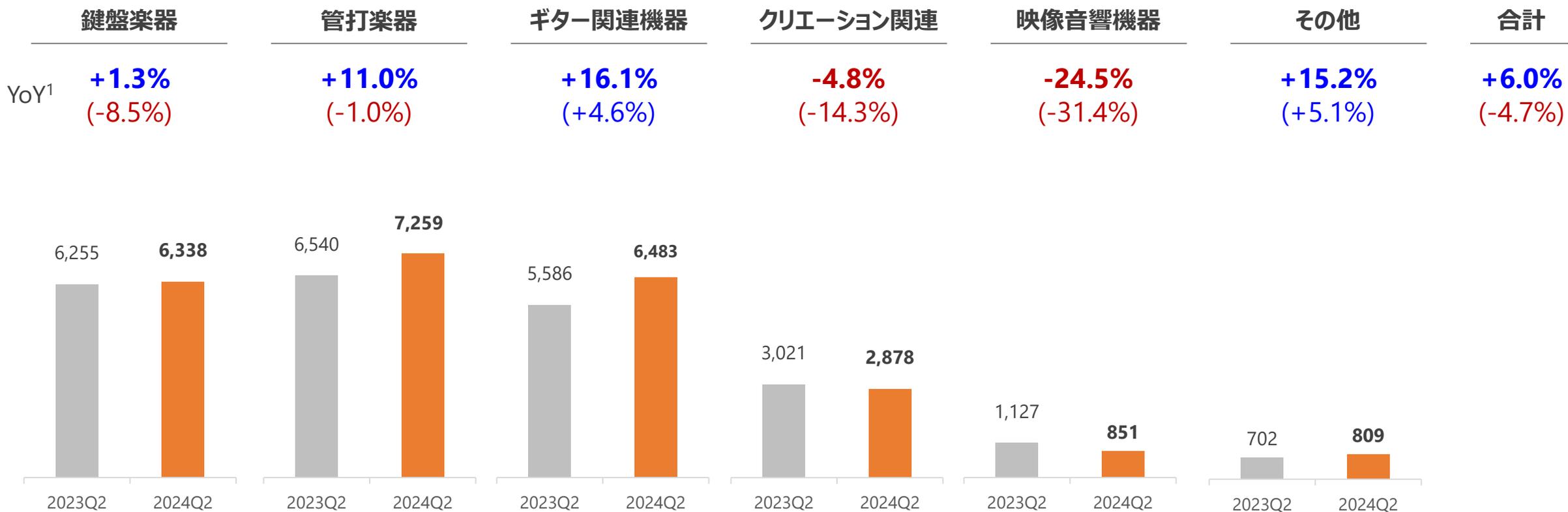
1 2023年12月期Q2 3Mの為替レート 米ドル/円：137.38、ユーロ/円：149.52、ユーロ/米ドル：1.088

2 2024年12月期Q2 3Mの為替レート 米ドル/円：155.90、ユーロ/円：167.94、ユーロ/米ドル：1.077

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

製品別売上高（4-6月期／3か月間）

単位：百万円

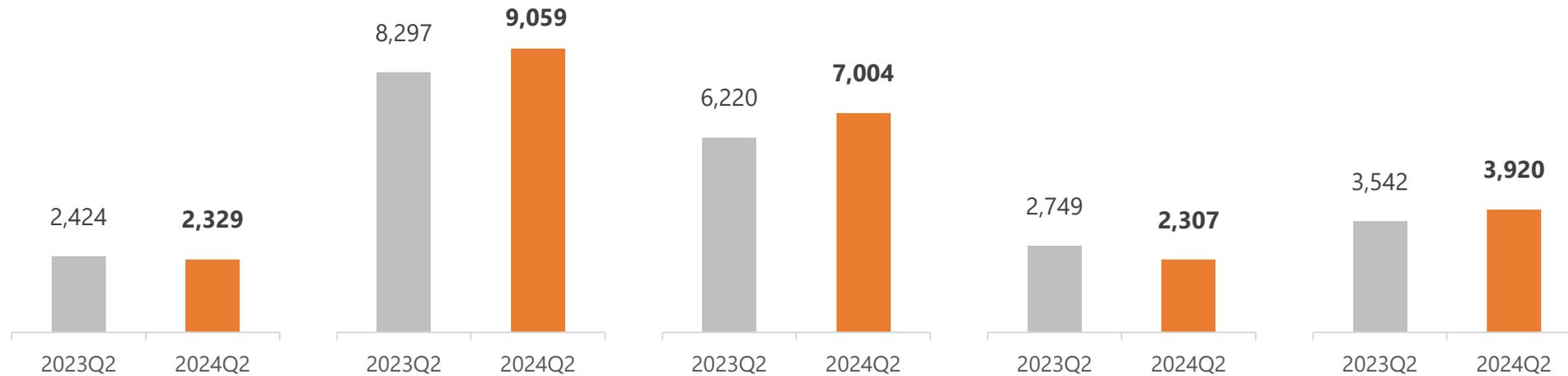


1 カッコ内は、為替影響を除外した比較

地域別売上高（4-6月期／3か月間）

単位：百万円

	日本	北米	欧州	中国	その他	合計
YoY ¹	-3.9% (-3.9%)	+9.2% (-3.6%)	+12.6% (+0.2%)	-16.1% (-23.7%)	+10.7% (-1.5%)	+6.0% (-4.7%)



1 カッコ内は、為替影響を除外した比較

主要連結財務数値

(単位: 百万円)	2023年12月期 Q2	2024年12月期 Q2	(単位: 百万円)	2023年12月期 期末	2024年12月期 Q2末
売上高	46,096	46,705	現金及び預金	12,883	13,434
売上総利益	19,772	20,183	受取手形及び売掛金	13,805	12,163
販売費及び一般管理費	15,516	15,754	棚卸資産合計	30,144	32,761
営業利益	4,256	4,428	その他流動資産	1,826	1,551
経常利益	4,012	3,811	流動資産合計	58,659	59,911
税金等調整前中間純利益	4,006	4,198	有形固定資産合計	9,961	9,938
親会社株主に帰属する中間純利益	3,195	3,694	のれん	3,129	3,349
EBITDA	5,580	5,860	その他固定資産	9,218	10,568
D/Eレシオ	0.6x	0.4x	固定資産合計	22,309	23,857
自己資本比率	48.5%	54.8%	資産合計	80,969	83,768
Debt / EBITDA ¹	1.6x	1.3x	支払手形及び買掛金	6,266	6,772
ROE ¹	24.4%	21.4%	短期借入金	4,300	2,000
ROIC ¹	16.1%	17.6%	1年内返済予定の長期借入金	8,526	5,384
研究開発費	2,434	2,449	その他流動負債	8,948	8,684
設備投資額 ²	1,144	666	長期借入金	10,056	12,002
減価償却費	1,323	1,431	その他固定負債	2,756	2,705
フリー・キャッシュ・フロー ³	8,125	6,362	負債合計	40,854	37,549
			純資産合計	40,114	46,219
			負債純資産合計	80,969	83,768

1 Debt/EBITDA、ROE、ROICは年換算（直近12か月累計）値

2 有形固定資産に関する金額

3 フリー・キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。